

社会的責任

かつて、ブランドは、製品やサービスを購入するお客様のみに向けて、企業イメージを伝えるものだと考えられていました。しかしグローバル化の進展と共に、そのブランドの製品が、どのような国や地域で、どのような人たちの手によってつくられ、また、使用後はどのように回収・リサイクルされるのかという視点で考える人々が増えてきました。リコーグループは、「人と情報のかかわりの中で、世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、提供しつづける」ことを企業使命とし、世界各地で事業を展開しています。また、環境経営を実践することは地球市民として企業使命を果たすことであり、環境経営は社会的責任と大きく重なる広範なものです。リコーグループは、環境経営の一環として、温暖化防止、オゾン層破壊物質の排出削減、生態系保全、青少年の健全育成などに取り組んでいます。世界から存続を望まれるグループであるために、私たちは企業使命に基づいた活動を、世界各地の文化や習慣を尊重したかたちで積極的に実践すると共に、リコーグループの社会的存在意義を、世界中のお客様、仕入先様などのビジネスパートナー、株主・投資家の方々、そして事業を行う国や地域の人々やNPO、行政機関などのステークホルダーに積極的にお伝えして行きます。



リコーが1999年度から支援しているバングラディッシュのNPO・POUSH(ポーシュ)が作った私設学校。この授業料は無料ですが、それでも、親の手伝いのために学校に通えない子供たちがいます。